



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ2024年5月報

会 長	永井孝憲	副 会 長	佐々木絹子
書 記	高松成士	会 計	吉田一恵
メ ネット会長		担当職員	高橋光子

- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア太平洋地域会長主題 「変革のための光となろう」
- 東日本区理事主題 「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
- 北東部長主題 「クラブのミッションを育てよう」
- クラブ会長主題 「若者とともに、YMCA との提携を深める」

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

「あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意してみなさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンさえ、この花の一つほども着飾ってはいなかった。」 マタイによる福音書 第6章27節～29節

「 5 月 巻頭言 」

高松 成士

夜の気温が少しずつ高くなってきた5月、我が家はキャンプへ行きたいモードが爆発中です。同居の末娘は中型バイクの免許も昨秋取得し、250 ccのバイクも購入済み、そして、ソロキャンプ用の備品も順調に揃えていっています。就職活動が一段落したら一人で行くのだそうです。できるだけ荷物を小さくし、バイクに積んで自由と自然を掴みに行きたいのだそうです。



我が家の旅行は専らキャンプでした。金銭的に余裕のないことも理由の一つですが、一つのテントで家族の絆を深めたり、不自由の中で自由を味わったり、自然から何かを感じ取ってほしい、何も無い中で様々な工夫と知恵で“楽しさ”を掴み取る経験を味わってほしいとの願いがありました。何度もプリテンには寄稿していますが、私の幼少時代の体験に近い経験を子どもたちに与えたいという親ばかな面もあるのだと思います。子どもは大人が想像しえない発想を時にします。それを見たかったのもあったと思います。

長男が県外へ進学したのは6年前。長女が一人住まいを始めた5年前。末娘と夫婦3人家族で過ごす間にキャンプの機会が一段と増えました。毎週とまではいきませんが、3人のスケジュールが合えば、突然、キャンプの準備を始め、いつの間にか出発していることが多々あります。目的地は車を進めながら決めることもしばしばです。3年前、まずは北へ向かうことを決め、車を進めるうちに岩手県に入り、このままでは青森まで進んでしまい帰りが大変と気づき、ようやく見つけたキャンプ場に問い合わせたところ空気がないことが分かり、夕暮れが近づき、焦って何処でもいと見つけた予約いらずのキャンプ場にお世話になったこともあります。辺りが暗くなってから到着し、それまでにない短時間でのテント設営を行い、まずは近くの温泉へひとつ風



呂（これは欠かせん）。真っ暗になった7時過ぎにキャンプ場に戻り、夕ご飯の準備、夕食、アルコール、就寝となりました。これがいつもの流れです。この時のキャンプ場は感激しました。朝の景色がステキで、なんと無料、宿泊客（利用者）が少ない。15分で温泉に行ける。我が家のお気に入りの一つになっています。そんなキャンプ場を幾つか持っています。余り人気のない、うるさくない、近くに温泉、焚火ができるが今の理想です。

福祉会で現在、YMCA 野外保育場の設置計画に着手しています。園児、職員、保護者が自然と野外での体験ができる施設になればと思いを巡らせています。しかし、あくまでも“保育場”です。乳幼児が体験できる施設が何年後かに完成に近づいていればと願っています。



5月のお誕生日

5月13日 永井孝憲さん
5月29日 今澤智代さん

おめでとうございます



★5月の第一例会

日時：5月21日（火）
18:30 ~
会場：仙台YMCA
内容：合併について 他
担当：三上・高橋
食前感謝：高松

4月16日例会報告 広瀬川と合同

在籍者	11名
出席者	9名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	6名
メネット・コメット	0名
出席率	82%
ニコニコ	12,000円

4月2日第二例会

出席 6名

5月7日第二例会

出席 7名



Y'sの思い出あれこれ

今澤 智代

2014年8月71回世界大会（インド）へ参加したことを思い出してみます。

8月6日から（観光も含めて）11日間の長旅でした。出かける前に「インドは毎日カレーで大丈夫？」と知人から言われたのですが、好き嫌いのない私は、何とかなるでしょう〜という気持ちで出発しました。到着まもなく、もりおかクラブ井上さんのお孫さんの小学生の男の子が2人別室に呼ばれました。ええっ！既に書類通貨しているのになぜ？と思いましたが、親子ではないので人身売買ではないかと疑われたらしいのです。まもなく入国許可になり皆ホッとしました。その後南のチェンナイに移動して、大会に参加しました。インドのワイズメンバーは9000人、韓国は5000人との発表がありちょっとびっくりしました。連日暑くて湿度の高いのには閉口しました。町を通る乗り合いバスは中古車を改造したような雰囲気です。冷房無のようでした。

大会後、観光地へ行くと「おみやげ買って」としつこく私たちの後を追いかけて来たり、バスの窓際にアクセサリーを売りに来た若い女の子もいたり・・・その辺にブラブラしている若い男の子もいてちょっとショックを受けました。あの時日本が一番良いところなのだと思ってしまう。貧富の差は10年たった今でもつづいているのでしょうか・・・。



5月の強調月間について

LT・ユース

LT = Leadership Training (リーダーシップトレーニング)

会員のリーダーシップの開発、向上を目的に行う研修またはこれを推進する事業の名称。

東日本区では、LT 委員会が設置され、区主催の部役員、クラブ役員の研修の企画/実施、研修教材の整備/提供、部主催の研修会等の支援を行っている。

国際協会での正式名称は、LTOD (Leadership Training and Organisation Development)。

4月例会報告

期日 2024年4月16日(火) 18時45分~20時30分

会場 仙台 YMCA 203 教室



参加 仙台クラブ：永井、佐々木、吉田、工藤、今澤、中川、小幡、高橋、高松
仙台広瀬川クラブ：菅野、加藤(研)、多田(純)、加藤(雄)、増山

永井会長遅刻の連絡があり、不在の中開会の指示があり、佐々木副会長による開会点鐘をもって仙台・仙台広瀬川クラブ合同例会が開会した。

司会の小幡メンの進行により、今月の聖句朗読、ワイズソングの賛美、ワイズの信条の唱和が通声高らかに行われた。引き続いて、佐々木副会長より「今日は、仙台広瀬川クラブと一緒に歩み始めるために重要な協議を行う例会となります。両クラブの皆さんの忌憚のないご意見とご意志をお聞き出来、共に歩み始めることができるようお願いいたします。」との挨拶があった。

高橋担当主事による食前感謝があり、吉田ウィメン準備のお弁当を前に、食事と歓談がしばらく続いた。

司会の小幡メンより協議が開始した。続いて、高松メンより資料に基づき、4月2日開催の仙台ワイズ第二例会で共有されたクラブ会則変更案の説明があった。引き続いて、菅野広瀬川会長より、4月3日開催の仙台広瀬川ワイズ役員会で共有されたクラブ会則変更案の説明があった。司会進行の下、各条の両クラブの相違の調整が以下行われた。

第2条(モットー)、第3条(会員・会員の入会)、第4条(会員の入会)、第5条(会費)、第6条(会員の失格及び退会)、第8条(役員)、第9条(監事)、第11条(役員を選出)、第12条(財政)、第13条(事業委員)、第14条(特別プログラム委員)、第15条(担当主事)、第16条(会則の改正)、第17条(附則)は両クラブ提案に相違がないことが確認された。

第1条(名称)・・・協議当初は永井会長不在であったため、「仙台広瀬川」で了承したが、その後、永井会長より「仙台クラブの名称が変更となることは、仙台クラブが消滅し新たなクラブとなる。周年記念事業を70周年まで終えているが周年事業はどうなるのか?歴史のあるクラブなのでこの場で簡単に名称変更を判断できかねるので、今一度クラブ例会で判断することをお許しいただきたい。」との意見があり、決定した後、広瀬川クラブに報告することとした。

第7条(例会・総会)・・・条文は第一例会と総会とすることとした。

第10条(第二例会・役員会)・・・第二例会を数年は定例で開催することは共有できた。広瀬川クラブ提案の役員案は、仙台クラブの役員はクラブ単独での継続を前提に選考したものでありこの場で選考する予定とは思っていなかったため、役員名簿については持ち帰り再度協議する機会を設け、決定後に広瀬川クラブに報告することとした。また、担当主事は総主事指名であること、一緒となった場合の担当者指名は後日になること、広瀬川クラブの期待は現担当主事出合うことが前提であることを踏まえ、仙台クラブ独自の判断と提案をしたいことが永井会長より説明された。



役員名簿について・・・広瀬川クラブ提案の役員名簿はあくまでも提案であり、職員担当の決定は総主事にあるので、調整、検討をいただくこととし、第10条に係る役員名簿も含め、仙台クラブで再度協議検討し、決定後に広瀬川クラブに報告することとした。

両クラブ共に持ち帰り、本日の協議結果を踏まえ、各クラブでの5月第二例会において再度協議検討し、検討結果を両クラブに報告し、5月第一例会で正式に会則改定を図ることとした。

仙台クラブは、5月第二例会を全員参加で開催、協議し、協議結果を翌日開催予定の広瀬川クラブに報告し、広瀬川クラブの判断を待ち第一例会で判断することとした。名称と役員案である。

司会より会の進行があり、連絡報告として増山広瀬川担当主事より、「2024年度仙台YMCA特別活動」計画の説明があり協力の依頼があった。

誕生祝いは、中川さんが還暦を迎えたとのことのお祝いのお言葉も添え、ハッピーバースデーをプレゼントした。

ニコニコ献金は参加者も多く、12,000円であった。

閉会挨拶が菅野広瀬川会長によりあり、次月は各クラブで本日協議がまとまらなかった会則変更並びに7月以降の姿を思い描き十分な協議を行っていただきたいとのこと述べられ、閉会点鐘をもって賑やかな例会が終了した。(文責：高松)



編集後記

仙台YMCA バザーは6月9日(日)開催です。焼き鳥600本焼きましょう。そばうどんも昨年同様の数となります。良き天気を祈り、皆さんで楽しみましょう。

物品バザーの寄贈はまだ募集しております。ご家庭にある方はYMCAへ6月8日までお願いいたします。

6月29日(土)は仙台YMCA大会となり10時30分からYMCAのタイワークに参加し様々な経験を得てコミュニティーナースの道を切り開いた伊藤明日香さんの講演会があります。ぜひ若いパワーのある話をお聞きください。(MT)



第1部 仙台YMCA大会 公開講演会 地域のつながりを考える ～コミュニティーナースの視点から～

日時:2024年6月29日(土)10:30-11:30
場所:仙台YMCA立町会館ホール

ユースの
ホットな活動
に学ぶ

5月の花



講師: 伊藤明日香(いとうあすか)

コンパッションを考える若者の会代表・看護師

【PROFILE】

1995年生まれ、公益財団法人宮城厚生協会若林クリニック勤務

2016年3月 第30回仙台YMCAタイワークキャンプ参加

2023年3月 オンライン青年対話サークルコンパッションを考える若者の会設立

コンパッションとは・・・“思いやり”という意味で、困難な状況にいる人などの気持ちを共有し、理解するという考え方のこと。

コミュニティーナースとは・・・「コミュニティーナース」という看護の実践からヒントを得てCNCが独自に提唱・普及してきたコンセプトです(商標取得済み)。ナースという名称が入っていますが職業や資格ではなく、誰もが実践できる行為・あり方です。暮らしの身近なところで元気なうちから、「毎日の嬉しいや楽しい」を一緒につくり心身そして社会的な健康やウェルビーイングに寄与します。(コミュニティーナースポータルサイト<https://community-nurse.jp/>より)

クレマチスはつる性植物で、他の植物や柵などに絡みつきながら伸びていきます。テッセンという名前でも知られていて、5月の季節に咲く花の中でも人気があります。6～8枚の大きな花びらが咲き開くと、とても豪華な雰囲気があります。花言葉は「精神の美」「旅人の喜び」「策略」